

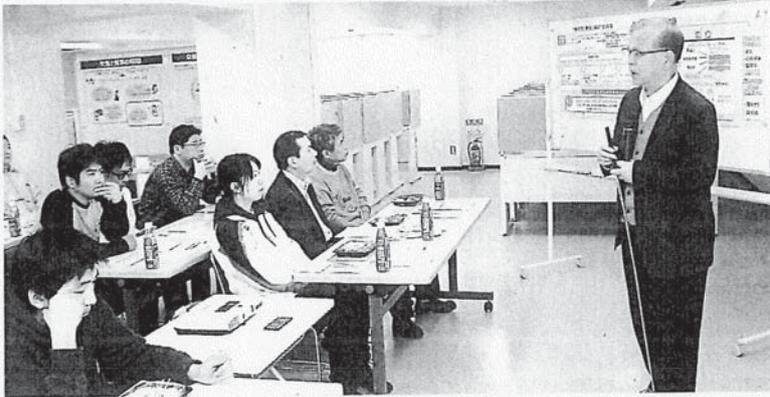
## 検査結果は即日 ▶▶▶ すぐ説明や指導

# 啓発型健診受けやすく

## 弘大項目絞り込み、試行

健康診断の結果を受診当日に示し、健康教育も行う「啓発型健診」が10日、昨年に続き弘前大学で試行された。普及に向けて前回よりも検査項目を絞り込んだ「コンパクト版」を、弘前市内の60人が受診した。

(尾坂拓哉)



健診後、中路特任教授の講話を聞く受診者

啓発型健診は文部科学省などの研究プロジェクト「COI(センター・オブ・イノベーション)」の参画機関が開発、数年後の普及を目指している。現在は試行期間で、昨年の同健診では約60項目だった検査内容を約40項目に減らし、簡便にした。

この日は、東北化学薬品(弘前市)の社員約60人が受診。血圧や骨密度、内臓脂肪、唾液などを調べた。健診開始から数時間後には、結果を受け取り、専門スタッフから講話や個別指導を受けた。

今後、受診者に対して月に2度、半年間にわたり健康に関する情報を提供し、ヘルスリテラシー(健康教養)の向上を促す。9月頃には追跡調査を実施し、健診の効果を検証する。弘大

COI拠点長の中路重之・弘前大学大学院医学研究科特任教授は「受診してすぐに自分の健診結果を見て説明を受けられることで健康への意識が高まる。さらにブラッシュアップして数年後に県内、海外に広めたい」と語った。